



令和7年12月25日 発行

東京都立富士高等学校

東京都立富士高等学校附属中学校

〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1

電話 03-3382-0601

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

東京都内SSH指定校 合同発表会

東京都内SSH指定校合同発表会に代表生徒が参加し、口頭発表やポスター発表に挑戦しました。また、高大連携授業では、女性研究者である東洋大学准教授の露久保美夏先生に調理科学について講演していただきました。

東京都内SSH指定校合同発表会 12月21日(日)

東京都内SSH指定校合同発表会が工学院大学で開催され、代表生徒が口頭発表（右の写真）とポスター発表（下の写真）に参加しました。発表後も個別に質問者が訪れ、今後の研究の改善に生かせる機会になりました。ポスター発表も大盛況で、会場には多くの参会者が訪れました。発表した生徒からは「発表を行う際は、ただ内容を言うのではなく、自分の考え方や見方を伝える機会だととらえることが大切だと感じた」「発表を聴いて、自分と同じようなテーマでもいくつもの異なる着眼点があり、結論も変わってくることに驚いた」「自分の発表を多くの人に聴いてもらうことで、今後の展望をより具体化することができた」「多くの発表は基礎的な知識に基づいていたので、学校で習った様々な知識を大切にし、それを探究に活かしていきたいと感じた」「全ての人が理解しやすい言葉を使うことと、自分でも論理をしっかり理解しておき正しい説明をすることを心掛けていきたい」といった感想が聞かれました。

【口頭発表 2件】

- ・紙飛行機の形状・重心の違いによる長距離飛行のシミュレーションと検討
- ・液状化における沈むものの条件と深さの関係

【ポスター発表 54件】



エコプロ2025 中学1学年 12月10日(水)

中学1学年の生徒が、12月10日(水)に東京ビッグサイトで開催されたエコプロダクツ展に参加しました。会場では各ブースを回り、企業のSDGsに対する様々な取組を学びました。生徒たちは今まで知らなかった各企業の取組に驚いた様子でした。



サステナビリティへ転換



調理科学とは

高大連携授業(理科) 12月13日(土)

中学3学年の生徒を対象に、本校のSSH運営指導委員でもある東洋大学准教授の露久保美夏先生をお招きして、高大連携授業(理科)を実施しました。「すっぱいだけじゃない!?調理における“酸”のはたらき」をテーマに、身近な食品や調理に関する現象についていくつかご提示いただきながら、その過程で起こっている化学反応やその理論についてお話を頂きました。授業の中では牛乳にレモン果汁を加え、固体成分と液体成分に分離したものを試食・試飲する場面もあり、生徒たちは非常に興味深い様子で意欲的に活動していました。参加した生徒からは「今後、料理をするときには、ただ作って食べるだけではなく、科学の視点でも考えたいと思った」といった感想が聞かれました。



個別指導の様子

富士未来構想サポートチーム

(高校1学年:課題設定 高校2学年:統計分析)

富士未来構想サポートチームとして大学や企業の研究者などの有識者と卒業生による課題研究の個別指導(13名の有識者と卒業生で78名の生徒を指導)を実施しました。指導を受けた生徒からは「それぞれの改善点や新しい案、良い部分などを的確に指摘して下さったため、新しい考え方や方法を浮かべるのに参考になった。これを糧にさらに良い実験、研究をしたい」「研究の方法、仮説を立てる際に必要な知識まで教えてくれてとても役に立った。悩んでいたことを解消できたので良かった」「丁寧に話を聞いてくださって、結果の収集方法のアドバイスをくれました。偏りが出てしまう質問紙になってしまふ予想はしていたのですが、その解決方法も教えてくださいました」「ずっと聞きたかった、分析が正しくできているかどうかについてアドバイスをいただくことができてよかったです」といった感想がありました。



第5回理数セミナー 12月6日(土)

「皮膚科医は何を見ている?—日常から考える研究テーマ—」

講師 学校法人和洋学園 和洋女子大学 学長 金子 健彦 先生

金子健彦先生は本校の卒業生です。講演では、好奇心は人生を良い方向へ導く力になること、「迷ったら動く・興味を行動に変える」ことの大切さが語られました。参加した生徒からは「研究や探究を進める中で深く考え、こだわりを持ち、迷ったら『どうしてやらないの?』という“Why not”的気持ちを大切にしたい」といった感想がありました。

どうしてやらないの?